

令和5年新年祝賀会・医事功労者表彰式



常任理事 稲田 隆司



沖縄県医師会新年祝賀会・医事功労者表彰式 式次第

日時：令和5年1月7日（土）19：00～20：40
場所：ロワジュールホテル那覇（3階 天妃の間）

司会 渡辺克江アナウンサー

- 1 開会のことば 宮里達也副会長
- 2 会長挨拶 安里哲好会長
- 3 第37回沖縄県医師会医事功労者表彰
 - ・ 県知事表彰
 - ・ 県医師会長表彰
 - ・ 被表彰者代表挨拶
- 4 来賓祝辞 玉城デニー沖縄県知事
- 5 鏡開き
- 6 乾杯 大屋祐輔琉球大学病院長
- 7 祝宴
- 8 閉会のことば 田名毅副会長

去る1月7日（土）、ロワジュールホテル那覇において、沖縄県医師会新年祝賀会並びに医事功労者表彰式を開催した。当祝賀会並びに表彰式は、3年ぶりの開催となり参加者制限や開催時間を短縮する等、新型コロナウイルス感染症の感染対策に取り組みながら実施した。始めに宮里達也副会長より開会の辞が述べられ、その後安里哲好会長が挨拶に立たれ、次のとおり述べられた。

安里哲好沖縄県医師会会長挨拶



あけましておめでとうございます。

本日は2023年の新春を寿ぐ沖縄県医師会新年祝賀会並びに医事功労者表彰式を3年ぶりに開催することが出来ました。玉城デニー知事をはじめご来賓の方々、会員の皆様方にご参加いただきまして衷心より感謝申し上げます。

さて2020年、中国武漢市で発症した新型コロナウイルス感染症は瞬く間に世界に拡大し3年が経過しました。今日なお未曾有の新興感染症として世界中を席卷し流行が続いております。全世界の感染者数は6.6億人（死亡数669万人）、国内の感染者数も2,948万人余（死者数57,900人余）となっております。

この間、沖縄県においても、感染の拡大が繰り返され、昨年のコロナ第7波では感染力の強いオミクロン株の影響により、多くの医療従事者が感染し、救急外来・一般外来の制限、手術の延期や病棟閉鎖等の診療制限が生じましたが、会員の先生方をはじめ多くの医療従事者が一丸となって対応にあたり、無事難局を乗り越えることが出来ました。ここに改めて関係各位に感謝申し上げます。

今年はコロナ第8波対策を中心に取り組んでいきます。現在、本県の感染者が2千人台と続いており、インフルエンザの流行が定点報告

ワースト1位です。これを受けて沖縄県医師会では明日から日曜日に小児等発熱軽症者抗原検査センターを立ち上げます。コロナ対策に加えて、「県民と共に歩む医師会」、「地域医療の更なる充実」、「魅力ある医師会づくり」の三本柱を掲げ邁進して行きたいと思っております。コロナ禍の3年間で、働き盛り世代の健康状態の動向を危惧していたところ、昨年12月24日に厚生労働省が発表した2020年の都道府県別平均寿命で本県は男性43位、女性16位に陥落しました。早急に詳細を分析し対策を練る必要があります。特に働き盛り世代の健康づくりの中心的役割を担う産業医部会の活性や5社協議（沖縄県・沖縄労働局・沖縄県医師会・全国健康保険協会沖縄支部・沖縄産業保健総合支援センター）を継続強化し、具体的な実践計画を進めたいと考えております。

また、いわゆる団塊の世代が全て75歳以上となる2025年に向けて、地域医療構想の実現

令和4年度沖縄県医事功労者知事表彰

NO	会員名	受章理由	地区	推薦地区
1	洲鎌 盛一	地区医師会役員10年以上	浦添	地区医師会推薦
2	白井 和美	地区医師会役員10年以上	那覇	地区医師会推薦
3	新里 勇二	地区医師会役員10年以上	中部	地区医師会推薦

令和4年度医事功労者県医師会長表彰候補者一覧

NO	会員名	受章理由	地区	推薦地区
1	高良 光雄	米寿（数え年88歳）	那覇	県医師会推薦
2	真栄城兼信	米寿（数え年88歳）	中部	県医師会推薦
3	宜保 好彦	米寿（数え年88歳）	那覇	県医師会推薦
4	大仲 良一	米寿（数え年88歳）	那覇	県医師会推薦
5	西川 徹	米寿（数え年88歳）	中部	県医師会推薦
6	山内 義正	米寿（数え年88歳）	浦添	県医師会推薦
7	新垣 盛良	米寿（数え年88歳）	那覇	県医師会推薦
8	源河圭一郎	米寿（数え年88歳）	南部	県医師会推薦
9	豊見山永昭	米寿（数え年88歳）	浦添	県医師会推薦
10	大浦 孝	喜寿（数え年77歳）	那覇	県医師会推薦
11	平良 鐵彦	喜寿（数え年77歳）	那覇	県医師会推薦
12	花城久米夫	喜寿（数え年77歳）	南部	県医師会推薦
13	宮良 善雄	喜寿（数え年77歳）	八重山	県医師会推薦
14	石井 和博	喜寿（数え年77歳）	那覇	県医師会推薦
15	當間 茂樹	喜寿（数え年77歳）	中部	県医師会推薦
16	細川 篤	喜寿（数え年77歳）	南部	県医師会推薦
17	名嘉 勝男	喜寿（数え年77歳）	南部	県医師会推薦

NO	会員名	受章理由	地区	推薦地区
18	喜久村徳進	喜寿（数え年77歳）	浦添	県医師会推薦
19	名嘉 恒守	喜寿（数え年77歳）	中部	県医師会推薦
20	山内 英樹	喜寿（数え年77歳）	浦添	県医師会推薦
21	国吉 光雄	喜寿（数え年77歳）	那覇	県医師会推薦
22	神元 繁道	喜寿（数え年77歳）	中部	県医師会推薦
23	高良 健	喜寿（数え年77歳）	那覇	県医師会推薦
24	仲本 政雄	喜寿（数え年77歳）	南部	県医師会推薦
25	屋宜 公	喜寿（数え年77歳）	南部	県医師会推薦
26	稲福 徹也	地区役員歴8年以上	浦添	地区医師会推薦
27	島袋 博之	労災部会10年以上	那覇	県医師会推薦
28	出口 宝	広報委員会10年以上 災害医療委員会10年以上	北部	県医師会推薦
29	新垣 寛	労災部会10年以上	那覇	県医師会推薦
30	長井 裕	医学会委員歴10年以上	琉大	県医師会推薦
31	知花なおみ	女性医師部会10年以上	那覇	県医師会推薦
32	富山 健太	医療関係者対策委員会10年以上	八重山	県医師会推薦
33	打出 啓一	災害医療委員会10年以上	宮古	県医師会推薦
34	外間 英之	沖縄県医師会代議員10年以上	那覇	県医師会推薦
35	吉本 栄司	医療情報システム委員会10年以上	八重山	県医師会推薦
36	椎木 創一	臨床検査精度管理委員会10年以上	公務員	県医師会推薦
37	与儀 洋和	学校医歴15年以上	中部	地区医師会推薦
38	伊志嶺みち子	学校医歴15年以上	宮古	地区医師会推薦
39	涌波 淳子	学校医歴15年以上	中部	地区医師会推薦

や第8次医療計画の策定、地域包括ケアシステムの構築等、極めて重要な年を迎えます。地域の実情に応じた医療提供体制の確保を図っていくことが重要であります。くわえて、医師の働き方改革として時間外労働規制の適用開始が来年に迫っており、勤務環境の改善と救急医療を含む地域医療提供体制の両立が求められます。この他、かかりつけ医機能が発揮される制度整備の在り方、2024年度の診療報酬等のトリプル改定、医療DX問題、頻発する大規模災害への対応等、枚挙にいとまがありません。これ等直面する諸課題に速やかに対応していくためにも、本日まで参集の皆様方のより一層のご支援、ご協力をお願い申し上げます。

この後、引き続き行われます第37回沖繩県医師会医事功労者表彰式では、県知事表彰に3名、県医師会会長表彰に39名の先生方が表彰されます。特に、慶祝表彰におかれましては、米寿の先生が9名、喜寿の先生が16名おられることは誠にめでたい限りであり、沖繩県医師会の誇りであります。受賞者の皆様におかれましては衷心よりお慶び申し上げます。

最後になりますが、新年が皆様にとりまして、希望に満ちた明るい年となりますことをご祈念申し上げ、甚だ簡単ではございますが、年頭のご挨拶と致します。

第37回沖繩県医師会医事功労者表彰

引き続き、医事功労者表彰に移り、玉城知事から沖繩県知事表彰（3名）の授与、安里会長から県医師会会長表彰の授与が行われた。県医師会表彰については、受賞者が39名と多数おられることから、ご出席いただいた先生方のお名前をご紹介させていただき、慶祝表彰を代表して源河圭一郎先生、医事功労表彰を代表して出口宝先生に授与された。その後、受賞者を代表して県知事表彰を授与された洲鎌盛一先生から挨拶が述べられた後、玉城デニー知事から来賓祝辞を賜った。

洲鎌盛一先生受賞者代表挨拶



沖繩県医師会新年祝賀会にお集りの皆様、新年あけましておめでとうございます。同時に本日もこのような盛大な沖繩県医師会医事功労賞表彰式の間を設けていただき

誠にありがとうございます。被表彰者を代表してご挨拶を申し上げます。最初に、挨拶の機会を与えていただいた沖繩県医師会会長安里哲好先生をはじめ、会員の先生方、玉城知事に感謝申し上げます。表彰される名簿を拝見しますと、諸先輩方、特に米寿を迎えられた先生方から比べると、私のような若輩者が代表して、この場に立つことは非常に心苦しく感じております。

さて、私は昭和48年4月に県立宮古高校を卒業しました。前年の昭和47年5月に本土復帰がありましたので、“県立”となりました宮古高校の卒業になります。当時の国費留学制度のおかげで、徳島県の徳島大学に入学することができました。私たちの年代からパスポート無しで本土に渡ることができました。徳島で温かく迎えていただいた同郷の先輩方からは、“自分たちはパスポートが必要だった”と会話したことを今でも懐かしく思い出しております。卒業後は、同大学の第二外科に入局し、外科全領域の研修を積みながら心臓血管外科医を目指ようになりました。昭和60年に、当時、心臓血管外科領域ではトップクラスの東京の榊原記念病院に研修に行くことができました。その後、昭和61年に沖繩に戻り、牧港中央病院に心臓血管外科医として勤務することになりました。縁がありまして、今では故山口栄豊理事長の後を引き継いで病院運営に携わり、現在に至っています。

今回、挨拶の機会を与えられたこともあり、医師として、県医師会会員として、どんな活動をしたのかを振り返ってみました。心臓血管外科医としては、自分なりに何とかやってきたと思っております。浦添市医師会理事に入るきっかけは、同仁病院前理事長の山内秀樹先生から

声をかけてもらったことです。大先輩からの鶴の一声で、訳のわからないままに医師会活動に参加していきました。災害と救急担当理事の関係で、2011年の東日本大震災後に度々行われた県医師会主催の災害医療研修会には何度も参加して勉強してきました。その中で、指揮命令系統、情報収集、情報共有など、普段の病院の中とは違った考え方を学ぶことができました。そして、まさかこんな機会が来るとおぼろげに思っていたのですが、2016年4月の熊本地震の災害医療現場にJMATとして参加することになりました。その時に、災害医療研修の内容が実際の現場で非常に役に立ったと考えております。また、新型コロナウイルス感染症を災害医療としてとらえたとき、災害医療研修の知識が再度役に立つことになりました。浦添市医師会としての活動をイメージすることができました。コロナ患者の急増に対して、浦添市医師会で発熱外来・PCR検体採取センターの立ち上げを行い、自院では発熱外来、PCR検体採取を継続して行いました。コロナの中等症までの患者さんの入院受け入れも行いました。浦添市ワクチン集団接種への医師会としての協力体制の構築、在宅でのコロナ患者の訪問、往診、遠隔診療への取り組みなど、特にこの数年間は皆さんと同様に、コロナで振り回されました。しかしながら、このコロナ禍で学ばせてもらったこともたくさんあります。その一つに、このコロナ禍を何とか乗り切るには、自施設だけでなく、医師会を含めた多職種の連携構築が必須で

あるということです。それから、コロナ対策・ワクチン集団接種を通して、今まで以上に近隣・他施設とのコミュニケーションの場が増えたことは非常に嬉しい事でした。

今後の課題になりますが、国が定めた健康寿命の延伸等を図るための循環器病対策基本法についてです。現在、沖縄県と県医師会が進めている心不全に係る地域連携体制構築事業について、浦添市医師会としても積極的に取り組んでいきたいと思っています。かかりつけ医との患者情報共有を図るためには、県医師会事業である津梁ネットワークの活用も大事になると思います。どこまで頑張れるかわかりませんが、諸先輩方を見習って、医療という仕事を今後も地道に継続していきたいと思っています。

本日はこのような機会を与えていただき、誠にありがとうございました。

玉城デニー沖繩県知事



はいさい。ぐすーよー。
いい正月でーびる。

明けましておめでとうございます。

令和4年沖縄県医師会新年祝賀会並びに医事功労者表彰式の開催にあたりご挨拶を申し上げます。沖縄県医師会におかれましては、日頃から本県の保健医療行政にご支援、ご協力を賜り、心から感謝申し上げます。



表彰式の様子

新型コロナウイルス感染の波が繰り返す中、関係各位におかれましては、発熱外来、PCR検査、感染患者対応及びワクチン接種など、現場でご尽力いただいておりますことに深く敬意と感謝を申し上げます。沖縄県としましては、オミクロン株対応ワクチン接種の推進や、検査体制の確保など、感染拡大防止に取り組んで参りますので、引き続きどうぞご理解とご協力を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

本日、沖縄県医事功労者知事表彰を受賞されました、洲鎌盛一様、白井和美様、新里勇二様、誠におめでとうございます。お三方の受賞は、地域において住民の健康増進や医療提供体制の確保に取り組まれた長年のご功績が認められたものであり、これまでのご尽力に対し深く敬意を表します。また、沖縄県医師会長表彰を受けられました皆様には、この度の栄えある表彰に対し、心からお祝いを申し上げますと共に、長年に亘って地域医療に従事され、沖縄県の医療と質の向上に多大なご尽力をいただいたことに対し、心から感謝を申し上げます。皆さまにおかれましては、今後とも地域医療の充実のため、ご活躍いただくと共に、後進のご指導についてもお力添えを賜りますようよろしくお願い申し上げます。

さて、県では広範かつ継続的な医療の提供が必要な5疾病5事業、在宅医療の充実及び医療従事者の養成・確保などに関する施策を定めた第7次沖縄県医療計画を推進し、地域医療連携体制の確保に取り組むと共に、昨年3月に策定した沖縄県循環器病対策推進計画を推進することにより、本県の循環器医療の実情に応じた施策を展開し、本県の重要課題の一つである健康長寿復活、健康寿命の延伸に取り組む所存です。また、本年が第8次医療計画策定に向けた作業が本格的に始まることから、医師会をはじめとする関係機関の皆様との十分な意見交換等を行い、実効性のある計画の策定に取り組んでいきたいと考えております。本年も引き続き、ご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、本日表彰を受けられました皆様により一層のご活躍と沖縄県医師会のますますのご

発展並びにお集りの皆様の更なる飛躍を祈念申し上げます、お祝いの言葉といたします。くとうしん ゆたさるぐとう うにげーさびら。

大屋祐輔琉球大学病院長



現在、全国のニュースを見ていますと、まさに我々が昨年経験した第7波が全国で繰り返され、沖縄県医師会そして沖縄県がしっかりとそれに

取り組んだ経験が、全国に活かされていると考えております。沖縄県が音頭を取り、そして医師会が協力し、地域の先生方、そして地域の行政の皆さんが協力したからこそ、未曾有の大変な中を乗り越えたのではないかなと考えております。本日は3年振りの開催であり、このように皆さんが集うということは、これからの沖縄県のチームワークをさらに高められることだと感じております。その意味でも、この新しい年を多くの課題がある中、皆様と乗り越えるためにもここで皆さんと一緒に祝いをしたと考えています。沖縄県並びに沖縄県医師会のますますのご発展、皆様方のますますのご健勝と飛躍を祈念するとともに、医事功労者表彰を受けられた皆様方の受賞を祝し乾杯の音頭を取らせていただきます。

その後、生田流箏曲 沖縄筑紫会による琴演奏が披露され、祝宴が和やかに行われた。

結びに田名毅副会長より皆様にとって良い年であるようにと祈念する旨の挨拶を行い会を閉じた。



琴演奏